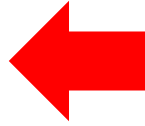


負けないぞ！



お水、流すよ。

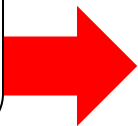
今度は川にしよう。



何作ってるのかな



ピラニアが生息するアマゾン川を作ってるんだ



長期休み中の預かり保育の醍醐味は、遊びに没頭できることです。

お砂場で数名の年長さんが山を作っていました。それを見て、年少・年中さん、そして先生の混合チームが大きなヤマを作っていました。途中で年長さんが高さを図りに来るなど、どちらの山もどんどん高くしていくことに夢中になっていました。気がつけば、お昼ごはんの時間。

お昼ごはんを食べてパワーを充電すると、山の続きをしようと、砂場に集まってきました。また、砂を盛っていくのかと思ったら…。山の上から水を流して川に変身。ごはんの前までライバル同士立った年少・年中さんが、今度は力を合わせて水を汲んで運んだりシャベルで土を盛ったりして協力していました。

翌日まで大きな山はそのまま残しておきました。すると、大きな山を見るなり、「山登りをしよう」とまた違う遊びが始まりました。その横では、もう一つの山から水を流す遊びが再開していました。水は大きな山の方に流れ込み、その先をシャベルで掘って、すると水が流れ込み…。繰り返していくうちに大きな山の周りをぐるっと一周していました。川がつながると、「お魚を浮かべよう」「たこも入れてね」「魚はシャベルね」など年長さんからでたアイデアを受けていろいろなお友達が魚に見立てた型抜きやシャベルを浮かべていました。

初めは、山を作ることだった遊びが、遊びの設定が少しずつ変わっていました。時間がたっぷりある長期休み中の預かり保育だからこそ、さらに遊びに没頭できるのでしょう。水がはけた後、今度は何を作り始めるか楽しみです。